

日本学術会議 健康・生活科学委員会
生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分会
第 26 期第3回議事要旨

日時 令和 6 年 4 月 23 日(火)17:30~19:00

場所 ビデオ会議(Zoom)

出席者:杉山久仁子委員長 守隨香副委員長 阿部栄子委員 池田彩子委員 大藪千穂委員
小川宣子委員 佐藤裕紀子委員 重川純子委員 宮崎陽子委員 宮野道雄委員
(欠席者:なし)

資料

資料 1-1 第26期第2回家政学分会議事要旨案 (委員用)

資料 1-2 第26期第2回家政学分会議事要旨案 (公開用)

資料 2 第26期の活動について

資料 3-1 生活科学系コンソーシアム2023年度決算 (案)

資料 3-2 生活科学系コンソーシアム2024年度予算 (案)

議題

1. 議事要旨案の確認 (資料 1-1, 1-2)

- ・第 26 期第 2 回家政学分会議事要旨案 (委員用) 及び (公開用) を確認し、原案通り了承された。

2. 第 26 期家政学分会の活動について (資料 2)

委員長より前回の提案内容 ((1)~(4)) の追加説明及び追加項目 ((5)・(6)) の資料が提示され、第 26 期の活動の方向性について審議した。

- (1) 第 25 期の期間において生活科学系コンソーシアムのシンポジウムで議論してきた事項の中から課題を見出して取り組む
- (2) 日本学術会議家政学分会第 25 期で検討されてきた子育て支援について、国の動きもふまえて継続して検討し、家政学の視点から包括的な支援のあり方を検討する
- (3) 生活科学系コンソーシアムの構成学会を対象としたアンケートの回答から特に日本家庭科教育学会の提示したウェルビーイングに注目し、健康で安心な生活を実現するために家政学が担うべき役割を明確化し、取り組むべき課題について考える
- (4) 金融教育について関心が高まっているが生活との関わりに関する視点が弱いため、家政学の視点から情報発信をしていく
- (5) 家政学についての情報発信を行う
- (6) 家政学における研究者の養成について

会議で出された意見を委員長が整理し、それを受けて次回の継続審議とすることになった。

3. 生活科学系コンソーシアムの活動について (資料 3-1, 3-2)

(1)総会の日程について

5 月 17 日 (金)、5 月 11 日 (土) を候補とし、4 月 24 日(水)に開催日時を決定するこ

とが承認された。

(2)総会資料について

重川委員より決算・予算報告の資料について説明がなされ、承認された。

(3)シンポジウムについて

具体的なテーマは総会において意見集約することを確認し、承認された。

(4)その他

生活科学系コンソーシアムの事務担当（構成学会への連絡担当）を構成学会から1名選出すること、2年程度の交代制を提案することが確認された。

4. その他

次回（第4回）の分科会開催の日程調整は、後日メールで連絡する。

以上